

科学性を無視していた巨大広域開発への警鐘

物語る巨大地震時の液状化・流動化・地波現象そして津波

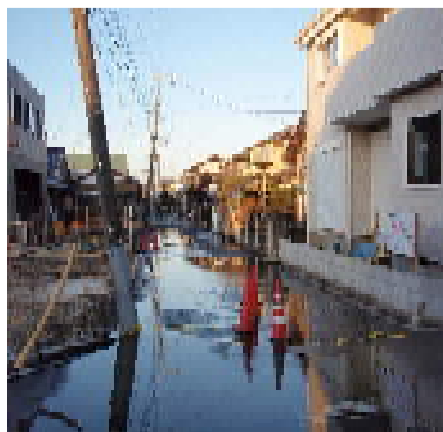
東日本大震災は未曾有の被害をもたらしました。津波、原発事故、液状化など被害は多くの要因を含んでおりますが、今回の講演会は千葉県での被害の特徴である液状化問題を取り上げることにいたしました。

浦安市から習志野市、千葉市までの東京湾沿岸地区さらに、我孫子や香取市などの内陸地区まで、千葉県の液状化被害は広大な地域に広がっています。首都圏に位置する本県として、宅地造成や工場誘致などの東京湾の埋め立て政策など都市計画との関連が浮かんできます。

本講演会では、液状化問題に詳しく、環境問題の NPO 法人を主宰する茨城大名誉教授の楡井久氏を講師として開催することにいたしました。防災、まちづくり、環境など様々な視点でのお話が聞けるとお思いますので関係する皆様のご参加をお待ちしております。

[資料代 500円 会員無料]

液状化被害甚大に



我孫子市での被害状況の写真

自治研センター 講演会のご案内

- 日時：2012年2月18日(土) 15:00～
- 会場：労働者福祉センター405・406号室
千葉市中央区千葉港4-4

<基調講演 講師紹介>

楡井 久(にれい ひさし)氏

NPO 法人日本地質汚染審査機構理事長
茨城大学名誉教授・地質汚染診断士

地質汚染診断士・国際地質科学連合(IUGS)環境管理研究委員会(GEM)常任理事
茨城大学名誉教授・内閣府認証NPO法人日本地質汚染審査機構理事長

著書に「検証・房総の地震首都機能を守るために」(千葉日報社)、「美しい日本列島の修復と環境資源利用を目指して～単元調査法と地方分権の重要性」(NPO 法人日本地質汚染審査機構)など多数



★お申込は自治研センターへ(電話 043-246-0511 FAX 043-246-3918)

☆2月7日(火)までに上記ファックスで結構です。

- 主催：千葉県地方自治研センター
- 後援：自治労千葉県本部
- 後援：連合千葉